

# 震災が 震 つなぐ 全国ネットワーク

震災がつなぐ全国ネットワーク（略称：震つな）は阪神・淡路大震災を機に、想いを同じくした団体・個人が集まり、1997年11月に設立されました。互いの違いを認め合いながら、過去の災害が与えた課題をともに学びあい、また、ネットワークを活かしながら、被災者の生の声に耳を澄ませ、一人ひとりに寄り添った支援を行います。

## 緊急支援

- 資機材の貸与
- 避難所運営の支援
- 被災地支援団体スタッフの派遣
- 専門的ボランティアの活動支援
- 関係団体の活動状況把握（情報収集）・情報共有・発信
- 支援活動の検証
- 住宅復旧のための説明会・相談会の開催
- 冊子（水害にあったときに）の被災者への無料配布



平成29年九州北部豪雨災害  
（大分県日田市での足湯）

## 復興支援

- 過去の被災地の実践者とつなぐ
- 復興寺子屋の開催



復興寺子屋（親子支援）  
熊本県御船町

## 教訓をカタチに

- KOBEの検証シリーズブックレットの販売
- 被災後に役立つツール（冊子等）の作成
- 全国各地での移動寺子屋の開催



移動寺子屋（避難所運営）  
静岡県西伊豆町



KOBE検証シリーズブックレット  
災害ボランティア文化

## 震災がつなぐ全国ネットワーク

461-0001 名古屋市東区泉1丁目13-3 4名建協2階レスキューストックヤード内  
TEL : 052-253-7550 FAX : 052-253-7552 E-mail : office@shintsuna.org  
HP : <http://shintsuna.org> ブログ : <http://blog.canpan.info/shintsuna>

## 生の声に耳を傾け、一人ひとりに寄り添う

震つなが大切にしている支援の形です。東日本大震災では、日本財団のROADプロジェクトに参画し、「足湯ボランティア」を被災地域等に派遣しました。足をお湯に浸けてもらいながら、向き合って手を取り、一对一の時間を共有する。被災者一人ひとりに寄り添い、その生の声を聴くことにこだわる震つならではの支援として、ROADプロジェクトでは延べ2,000人のボランティアを派遣し、16,000人の足を温めました。



ROADプロジェクトでの  
足湯ボランティア  
(2011.3~2013.4)

## 互いの違いを認め学び合う、緩やかなネットワーク組織

東日本大震災以降も新たな会員が加入し、これまでに50を超える災害の被災地支援活動に関わってきました。

全国各地に散らばる会員が緩やかなネットワークでつながり、それぞれの個性を認め合い、過去の災害から学び、提言し、緊急時には協働することを基本としていますが、その関わり具合は、各会員が自由に選択することができます。

また会員向けデータベース「つなぐも」にて、水害対応・場づくりのノウハウなどの被災地支援時に役立つツールなどをネットワーク内で共有しています。

団体正会員42、個人正会員37（2020年10月末現在）



移動寺子屋 in 名古屋  
(足湯)

## 過去の災害からの教訓をカタチに

これまでに経験した災害の教訓をともに学び、伝えるため、震つなでは、移動寺子屋の開催やブックレット、各種ツール（冊子等）の作成に取り組んでいます。2016年度発行した「水害にあったときに～浸水被害からの生活再建の手引き～」は、近年頻発する水害に対して、被災された方が生活を再建するために必要な手続きや片付けなどの情報を掲載し、水害の発生した各地域で活用いただいています。

(発行物の例)

KOBEの検証シリーズブックレット／災害ボランティア文化  
災害関連死防止ポスター・冊子／足湯のつばやきガイドブック

一部発行物はこちらより内容をご確認いただけます。



移動寺子屋 in 三重  
(水害被災家屋の片付け)



災害関連死防止ポスター・冊子  
水害があったときに冊子・チラシ